

大学名：中部大学

ASPUnivNet の 4つの機能他	評価項目	事例記述
1. 学校のユネスコスクール加盟を支援します（加盟に関する相談も含む）	① ユネスコスクール加盟を希望する地域の学校から相談があったときにそれに応じることができた。	該当なし。
	② ユネスコスクール・チャレンジ期間実施校に対する相談に応じることができた。	チャレンジ期間延長に関する相談に応じた。
	③ 地域の加盟済のユネスコスクールに向けて ESD/SDGs をリードする学校としての「質の向上」にかかわる支援を行うことができた。	愛知県ユネスコスクール支援会議への参加を通して支援を行った。また、教員（古澤准教授）が愛知県内のユネスコスクール（高等学校）において講演を行った。
2. 大学の持つ知的財産をユネスコスクールの活動に提供します	① 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールに向けた支援（資料提供やコーディネート、出前授業やワークショップなど）を行うことができた。	中部大学が連携する「ESD コンソーシアム愛知 ESD・SDGs 活動成果発表会」（2024 年 3 月 23 日）に 4 校のユネスコスクールに参加してもらった。 https://esd-aichi.com/news/
	② 研修会やワークショップを地域のユネスコスクールと協働して開催することができた。	愛知県ユネスコスクール支援会（メンバー）として、地域のユネスコスクールの発表の場である「SDGs Aichi EXPO」に出展した。
	③ 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールと協働で教材やモデルプロジェクトを開発することができた。	該当なし。
3. 地域の教育機関とユネスコスクールとの連携を促進します	① 地域のステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。	ESD コンソーシアム愛知の HP 上で情報発信を行った。 https://esd-aichi.com/index.html
	② ユネスコスクールと地域の多様なステークホルダーとを結びつけることができた。	該当なし。

	③ ユネスコスクールに関連した地域教育委員会との連携や地域における大学間の連携を促進することができた。	愛知県教育委員会が設置した「ユネスコスクール支援会議」の委員として、愛知県下のユネスコスクールの支援を行った。
4. 国内外のユネスコスクールとのネットワークづくりを支援します	① 地域をこえた国内外の多様なステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について知らせることができた	該当なし。
	② 地域をこえた国内外のユネスコスクールと協働で活動することができた。	該当なし。
	③ ユネスコスクールがグローバルな活動することについてそれを支援することができた。(例：ユネスコスクールの国境を越えた交流、海外とのオンライン交流、海外のプロジェクトへの参加など)	中部大学国際 ESD・SDGs センター教員が、ガーナ共和国ユネスコ国内委員会の全国 ESD 有識者会議に参加し、講演を行った。
5. 大学内の活動	① 大学内でユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。	各種イベントの開催について、大学内で広報を行なった。
	② 学部大学院の教育課程でユネスコスクールにかかわる教育を行うことができた。	学部教育科目「持続学のすすめ」および大学院科目「SDGs と共生社会」においてユネスコスクール活動を含む ESD の重要性について講義を行った。また、中部大学 SDGs 学際専攻プログラムで学部横断型の教育を実施している。
	③ 調査研究活動でユネスコスクールに関連した調査研究を行うことができた。	ESD for 2030 に関連して、2023 年 12 月に国連大学で開催された ESD NET の国際会議で中部大学国際 ESD・SDGs センター教員(古澤准教授)がパネリストとして登壇し、国際的な ESD 活動における大学の役割について議論を深めた。
	④ その他	該当なし。
6. ASPUnivNet のネットワーク機能の活用	① 加盟大学間で情報共有ができた。	該当なし。

	② 加盟大学間で連携した取組ができた。	該当なし。
	③ その他	該当なし。